

道徳科指導案

日 時 令和2年1月16日(土)第3校時

対 象 特別支援学級 6組

学 校 名 板橋区立志村第三中学校

1 主題名 差別を許さない 【C-11 公正、公平、社会正義】

2 教材名 『避難先でいじめにあう』(東日本大震災アーカイブス ～証言 web ドキュメント～)

3 ねらいとする道徳的価値について

コロナ禍において、様々な差別が起きてしまっていることが報じられている。そうした背景を受けて、本時は「正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること」(内容項目C-11 公正、公平、社会正義)という学習指導要領の内容項目に基づき設定した。東日本大震災、それに伴う原発事故によって多くの人々が避難を余儀なくされた。その中で避難先においていじめを受けた経験をもつ高校生のドキュメンタリーをもとに授業を行う。被災や原発事故など、当人にとってはどうすることもできない事象によって差別が行われてしまうことと、コロナ禍における医療従事者への差別には通底するものがあると考えられる。いかなる場合であっても差別は許されないという気持ちをもつとともに、事態を冷静に分析することの重要性について考えさせたい。

4 ねらい

震災のために避難した人々が受けた差別について考え、自らは絶対に差別を行わないという強い意志をもつことができる。

5 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	○東日本大震災について知っていることを発表する。	東日本大震災の際、人々はどのようなことに苦しんだのだろうか。 ・地震、津波で命が奪われた。 ・住むことができなくなった。	
展開 (40分)	○動画の視聴。 ○内容の整理、いじめの構造について考える。 ○福島県に対する風評被害やいじめが社会問題となっていたことを確認する。 (パワーポイント) ○「なんとなく差別」のポスターを見る。 ○自らを省みる。 ○お互いに自分の考えを紹介しあう。	加害者側は、どうして閑上出身だといじめていたのだろうか。普通だったら「大変だったね」となるのではないか。 ・補助金をもらっているからと動画の中で言っていた。 ・自分たちも大変だったから、その不満をぶつけている。 福島の人が差別を受けたのはどうしてだろう。 ・放射能が危険だと思ったから。 自分たちはこのようなことをしていないだろうか。	●津波の映像などを見たくない生徒には配慮をする。 ●動画の三浦さんは原発事故避難者ではないことに留意する。 ●心配する気持ちと、差別という行動を結びつけてはならないことを強調する。 ●コロナ禍で同じようなことが起こっていないか考える。 ●自らの行動を省みるだけでなく、自信の行動をこのようにしていくという目標をセットで立てる。 ●自分の書いたことを5人に紹介しましょう。
まとめ (5分)	○授業を振り返り、感じたこと、考えたことを記入する。	今日の学習をして思ったことや考えたことを書きましょう。	●他者の意見を参考にし、書くように促す。

6 評価

ねらいについて

差別は絶対に許されないということだという考えをもつことができたか。(ワークシート)